

薬樹 女性の健康 プロジェクト

社会福祉協議会と連携、「LINE相談」に実績 相談実績を積み上げ、ナレッジとして生かしていく

「生理の貧困」をはじめ、女性の健康問題に対する認識は時代とともに大きく移り変わっているのではないだろうか。

月経についても、戦前では月経回数は生涯で50回程度だったが、現代の女性は約9倍の450回とも言われている。月経の回数が多くなるほど、子宮内膜症になる可能性が高まり、また、症状が悪化していくとされる。

東京都予防医学協会によれば、1990年頃を境に再び、貧血の子どもが増え始めているようだ。「治療を必要とする貧血の子どもが増えているのはもちろんですが、特に、中学生・高校生の女子で貧血一歩手前の『潜在性鉄欠乏状態』にある子どもが非常に多くなっています。また、最近の研究では、潜在性鉄欠乏状態によって注意力や集中力の低下、学習能力の低下などが起こっていることがわかってきています」（同協会HPより）

ダイエットや食生活の偏りにもよるが、女子の場合は「過多月経」が要因にあるとも考えられる。

国の「女性活躍・男女共同参画の重点方針」にも掲げられた生理の問題。男女の差

を正しく理解して、社会的支援や学校教育でのアクションが重要となる中、地域の相談薬局の役割にも期待は高まっている。

「薬樹女性の健康プロジェクト」の活動内容と課題への取り組みを伺った。

12～18歳女子の「相談先がない」

薬剤師・管理栄養士合わせて13名による「薬樹女性の健康プロジェクト」を推進する薬樹（本社：神奈川県大和市）では、活動の1つに「LINE相談」を行っており、12～18歳的女子からの相談が多いという。

主な相談内容は、①月経関連（期間・経血量調節）、②からだの不調（PMS、不正出血、生理以外の腹痛、胸のツッパリ感）、③LGBTQ、④親が受診させてくれない事情。

「生理が始まった12歳頃的女子にとって、月経のしくみも、人それぞれ違うということも分からないと思います。例えば親に相談しようとしても、母子家庭では母親は仕事で忙しい、そもそも母親自身『自分もそうだった』として、なんとなくそのままになってしまうケースもある（我慢してしまう）。10代の女子にとって『相談先がない』

』というのが現状です」と述べるのは、同社執行役員、健ナビ事業本部事業部長の中村麻衣子さん。

薬樹女性の健康プロジェクトは横浜市社会福祉協議会と連携して、「LINE相談」を日常的に続けている。2023年3月から翌24年11月までの実績では登録者58名中38名とやり取りを行い、そのうち約3割に受診勧奨を行ったという。こうした福祉や行政等といっしょになって取り組むことで実績とスキルを積み上げ、会社の事業に育てていきたい考えだ。

[次頁につづく](#)



「公益財団法人 男女共同参画センター横浜南」主催「私の生理と向き合おう 対談&相談会&ヨガ」でのセミナーの様様

また、貧血でめまいを感じても産婦人科で受診をする人は少ない。貧血そのものが重篤に至らなくても、倒れて骨折してしまうケースもある。

「若い世代が『どこでも相談していいんだ』という認識を高めるため、医療従事者や福祉関係者などそれぞれが啓発していく必要があると思います」（中村さん）

薬局における女性の健康相談のあり方については、「まずは、相談実績を少しずつでも積み上げていく。そしてその内容や対応を振り返り、ナレッジとして次に生かしていくことで、相談を受けるスキルが上がっていく。相談者が適切に相談できるように、さまざまな機会に相談内容や対応などを共有していく。こういった草の根的な活動が、相談薬局としてまず、できることなのかと、思って活動しています」

いわば、相談薬局の活動を通じて「相談する側のリテラシー」と「相談を受ける側のリテラシー」がそれぞれ向上していくことで、女性の健康課題の解決へ近づくのではないだろうか。

薬樹女性の健康プロジェクトのプロセスと実績が、やがて相談薬局のスタンダードとなり、「薬をもらうところ」の固定的なイメージの払拭につながることも期待したい。

「薬樹女性の健康プロジェクト」

■活動趣旨

- ・「日本医療政策機構（HGPI）」のプラットフォーム「若者への情報提供や相談サービス」への参画
- ・適切な緊急避妊薬の交付体制を構築
- ・官学民と連携した女性の健康課題の解決

■活動実績

- ・子どもの性教育：
 - 社内で「厚労省いのちの安全教育」動画視聴会、「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」共有（企画中）
 - ・生理の貧困：
 - 横浜市社会福祉協議会、横浜市男女共同参画センター、その他、生理用品企業と協賛で生理用品配布、相談用LINE配布
 - ・女子サッカークラブ「大和シルフィード」ピンクリボンアクション：
 - マンモグラフィー検診車、月経や更年期等を中心にクイズや相談会
 - ・LINE相談：
 - 月経に関する悩み
 - ・健康経営：
 - 社内セミナー「月経に伴う症状とパフォーマンス向上のための対策」開催、男性向け更年期、プレコンセプションケア
- （企画予定）
- ・緊急避妊薬：社内相談・交付体制構築

（活動予定）

- ・「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の共有、意見交換
- ・男性向けワークショップやプレコンセプション関連の社内セミナー開催



女子サッカークラブ「大和シルフィード」ピンクリボンアクションでの模様

（Text = 石川良昭、写真提供 = 薬樹）

今回の取材は薬樹本社にて、中村麻衣子さん（執行役員 健ナビ事業本部事業部長）、古川美紀さん（コンプライアンス推進室 大和シルフィード健康サポートスタッフ 公認スポーツファーマシスト 日本女性心身医学会認定更年期指導士）、関野麻子さん（健ナビ事業本部 店舗運営支援本部 薬局事業支援グループ コンタクトチーム）に応じていただきました。